あんなことや、こんなこと―TOWNコミュ

写真左から清水町長、倉田支部長、松崎さん

7/14 交通安全活動の積極的推進で表彰を受けました

運転者等に対する街頭指導活動等を積極的に推進し、交通事故の防止に大きな成果を収めたとして、松山市で行われた「第55回交通安全県民大会」において、南宇和交通安全協会城辺支部が「交通安全功労知事表彰」を、また、松崎孝三（こうぞう）さんが「交通安全県民総ぐるみ運動愛媛県本部長感謝状」をそれぞれ受賞されました。

これを受け、同支部（倉田政夫（まさお）支部長）は「今後も交通事故防止に積極的に取り組み、町内での交通事故が1件でも少なくなるよう安全で安心な明るい町づくりに向けて活動を続けていく」と話されました。

7/30～31 自然に囲まれ海人（あまびと）体験

須ノ川公園で海人（あまびと）キャンプin愛南が開催されました。現在開催中のえひめいやしの南予博2016（平成28年3/26～11/20）の地域コアイベントとして行われ、町外から参加した11組39名の親子連れが1泊2日の日程で海上アクティビティや地引き網などを楽しみました。砥部町から親子で参加した白石愛実（まなみ）さん(6歳）は「地引き網は大きくて重たかった。アコヤ貝を開けてもらうときに真珠が出るかもしれないと思ってどきどきしました。」と笑顔で話しました。

須ノ川公園には、カフェやハンモックのコーナーも開設され、参加者は豊かな自然に囲まれて思い思いに夏休みのひとときを過ごしました。

本日！海日和!! vol.70 「サンゴの避難場所」

サンゴに隠れるカサゴ

９月１日は関東大震災にちなんだ防災の日である。各地で避難訓練など、様々な行事が行われている。地震が起こったら、どうすればよいかを考える一日にしたいものである。

食うか食われるかの厳しい海の中にも、避難施設のような場所がある。すり鉢のような形をしたスリバチサンゴもその一つだ。この中に入ると、敵に襲われにくくなるのだろうか、いろいろな魚がやってくる。写真は、瀬ノ浜にあるスリバチサンゴだ。砂地の中にポツンとあり、よい隠れ場所になるためか、よく魚が入っている。ここに潜ったときは、どんな魚が隠れているか楽しみにして見に行く。この日は、カサゴが隠れていた。上から見ると丸見えなのだが、それは気にならないらしい。

このようにサンゴは、多くの魚に隠れ場所を提供している。サンゴは漁業の上からも大切な資源である。しっかりと守っていかなければならない。

（撮影地：瀬ノ浜）

愛南サンゴを守る会 西尾知照（ともてる）

7/17 「宝くじ助成事業」で やぐらステージ等を整備しました

㈶自治総合センターの「平成 28 年度コミュニティ助成事業」の補助を受け、須ノ川地区自治会（内海）の盆踊りで使用するやぐらステージと紅白幕が新調されました。

この事業は、『宝くじの普及広報事業』として自治総合センターが受け入れた宝くじ収益金を財源として、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感に基づく自治意識を盛り上げることをめざすもので、コミュニティ活動に直接必要な施設又は設備の整備を行っています。

7/26 B&Gで「いちごの里」海洋実習

御荘 B&G 海洋センタープールで、知的障害者更生施設「いちごの里」の海洋実習が行われました。参加した入所者や施設関係者ら約 40 名は、準備運動を行ったあと、泳いだりカヌーに乗るなどしてプールでのひと時を楽しみました。

8/2 南宇和電気工事組合が無料点検を実施

８月の「電気使用安全月間」に合わせて南宇和電気工事組合（西﨑良文（よしふみ）理事長、12 業者加盟）が柏地区の独居高齢者 6 世帯の漏電調査や電気設備の無料点検を行いました。夏場の電気事故を防止しようと毎年行われており、今年は 7 業者が参加、2 班に分かれて点検を行いました。点検を受けた長尾伊登枝（いとえ）さんは「電気の配線など気になっているところを見ていただき、大変助かりました。」と感謝を伝えました。

8/8 名勝訪ねて早朝ウォーク

景観を楽しみながら地域の道を歩いて清掃しようと内海地域で内海名勝探訪早朝ウォーク（主催 内海名勝会 小島正俊（まさとし）会長）が行われました。国土交通省四国地方整備局が共催する 88 クリーンウォーク等に併せて実施されたもので、内海名勝会の会員やボランティア 18 名が参加、旧国道の柏崎半島を周回する約 6km のみちのりを午前 6 時から約 1 時間半かけて、ごみ拾いをしながら歩きました。

途中、休憩した「昭和天皇御展望の地」は内海地域の名勝の一つ。参加者は、目の前に広がる豊後水道を眺めながら、心地よい汗をぬぐっていました。